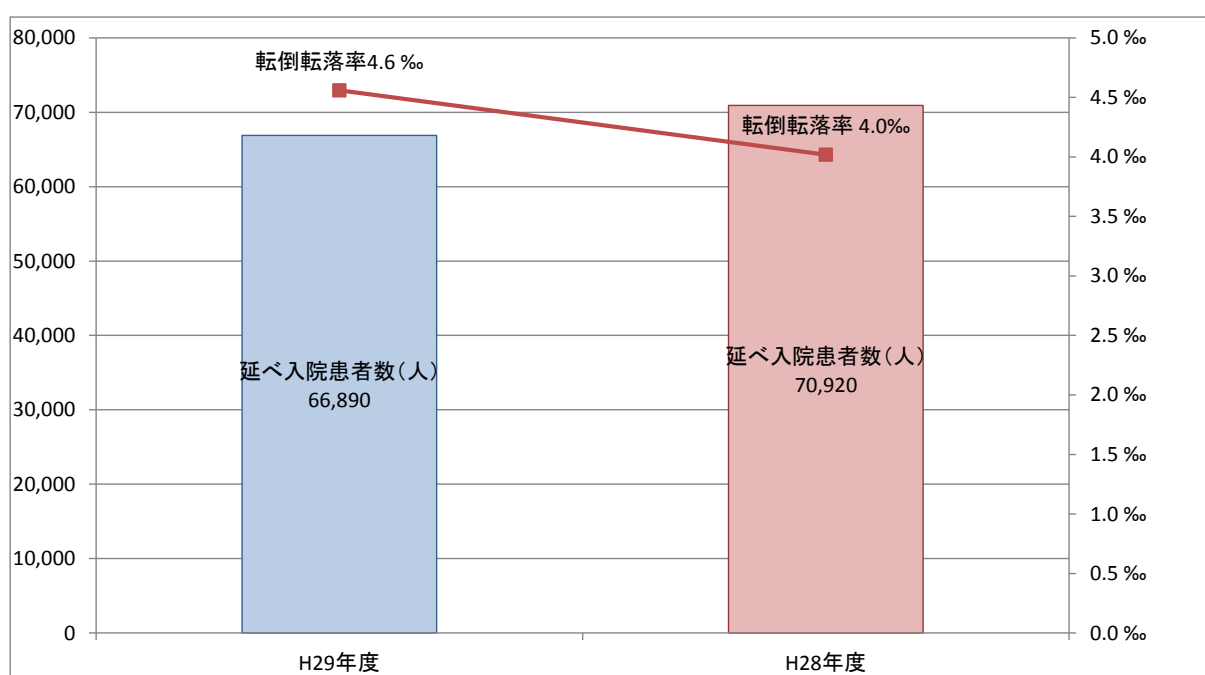


## インシデント・アクシデントレポート 年度別集計

	インシデント・アクシデント			原因別										
	インシデント	アクシデント	合計	転倒	指示出し受け	処置関連	薬剤関連	チューブ関連	医療機器設備	検査・レントゲン	診療情報管理	家族患者説明	療養上の世話	その他
H29年度	1108	14	1122	305	28	50	323	111	46	107	28	9	108	7
H28年度	964	19	983	285	17	20	322	70	48	92	11	10	74	34



転倒・転落の指標としては、転倒・転落によって患者に傷害が発生した損傷発生率と、患者への傷害に至らなかった転倒・転落事例の発生率との両者を指標とすることに意味があります。転倒・転落による傷害発生事例の件数は少なくとも、それより多く発生している傷害に至らなかった事例もあわせて報告して発生件数を追跡するとともに、それらの事例を分析することで、より転倒・転落発生要因を特定しやすくなります。

こうした事例分析から導かれた予防策を実施して転倒・転落発生リスクを低減していく取り組みが、転倒による傷害予防につながります。

※調整率（‰）パーミル：1000分の1を1とする単位